

黎明での学び方がさらに進化!



令和4年度のBYADタブレット端末を用いた授業の様子



詳しくはQRコードより→

令和4年度から高等学校において実施されている学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、中央教育審議会答申でも「高校生の1人1台端末環境の実現」が明記されるとともに、宮城県教育委員会からは、県立高校において「BYADによる端末整備」を各校の実情に応じて進めていく方向性が示されました。

古川黎明高等学校でも新しい学習指導要領の実施にあわせて、個に応じた教育等のため、生徒1人1台のタブレット端末をBYAD方式でご購入いただき、未来を生きていくために必要な力を養う教育を推進しています。

BYADとは「Bring Your Assigned Device」の略で学校で端末と購入方法を指定する方法です。

BYOD (Bring Your Own Device: 自由持ち込み)とは異なり、生徒全員が同じ端末であることから、生徒の学習が同環境で行えます。3月の合格者準備出校時に案内する手続きで購入いただいた端末は校内のWiFi回線に接続してご利用いただけるようになります。BYAD端末は借用端末では実現できない生徒個人の成長にあわせた活用スタイルを作り上げることができ、卒業後も引き続き自分の端末として活用できます。BYAD端末で身につけた情報活用能力は将来、生徒自身の強みになります。

端末を利用した学びかたの進化の特徴

- 1)深い学び 主体的・対話的で深い学びの実現による学習内容(基本から応用まで)の定着を!
- 2)個と協働 授業で個に応じた学習や協働学習もさらに多く可能に!
- 3)豊かな表現力 文字による表現力だけでなく、クリエイティブな活動も充実!
- 4)教材の蓄積 学習活動や学習内容の蓄積(中学校からの分も含む)が、進路実現の強みに!
- 5)成長の促進 自分の活動を振り返り、成長を実感しながら、達成感を自信につなげる!
- 6)リモート学習 コロナ禍でも学びをとめない!

①ご購入いただく端末について

現在導入している機種はiPad(第9世代64GB)、本体、初期設定費用、学校WiFi接続等をあわせて6万円前後(為替の状況や新規モデル発売などの理由で価格は変動します。33ヶ月分割払いで月1,800円程度)です。卒業後にご自身の端末として自由にご活用いただけます。なお、購入が難しい世帯へは貸与による支援を準備しています。別途希望者は任意での補償に加入できます。

②BYAD端末費用にiPad本体代金以外で含まれているもの

MDM(モバイルデバイス管理)と学校WiFi接続と iCloud 200GBの設定費用(600円程度/月×33ヶ月分)
*iCloudはiPadが壊れた時の復元のためのデータのバックアップ場所などとして必要です。

お問合せ:宮城県古川黎明高等学校